

基本活動 福祉 促進 機能	(4)児童館を支える地域	組織名称	構成団体・個人	会議/取組頻度	議題/取組内容	成果と課題
		・学童クラブ保護者会	・学童クラブ登録家庭の保護者	随時	・事業への相互協力・総会など	・昨年度より保護者会用の連絡ツールとして、専用のアプリを導入され、(サークルスクエア)保護者同士のやり取りが児童館に足を運ばなくてもスムーズに行えるようになった。ただ、全員がアプリに登録されていないという課題が残っている様子。 ・昨年度同様におべんとういらんデーの費用を支出していただきました。また、著作権の問題で館で上映可能なパブリックドメインのDVDの購入もしていただきました。
		・北区児童館学童保育所連絡協議会	・区内児童館、学童保育所	随時	・北区「はぐくみ」ネットワーク会議 ・北区未来につながる区民会議 ・北区社会福祉協議会評議員 ・北区地域福祉推進委員会プロジェクト会議 ・北区要保護児童対策地域協議会 ・北区子育て支援ネットワーク会議 ・FUNAOKA STANDARD ・保健センターとの連携事業 ・学習会 ・上賀茂神社作品展 ・北区子育て支援推進会議	・連携を行うことで、行政区での活動を幅広く知ることができた。 ・上賀茂神社作品展など、北区の児童館のPRを広く一般市民することができた。
		・紫野児童館運営協力会	・風徳町内会連合会、風徳民生児童委員協議会、風徳地域女性会、風徳少年補導委員会、風徳体育振興会、風徳消防団、風徳学区自主防災協会、風徳社会福祉協議会、京都市立風徳小学校PTA、風徳交通安全協会、京都市立風徳小学校	4回	・児童館の役割と事業内容について ・情報交換	・児童館での事業の内容をスライドにして上映し、児童館の役割を知っていただきながら、児童館の行事の協力依頼も行った。 ・風徳小学校の教室を利用した施設外クラスで使用のお茶やおやつなど、来年度からは必要に応じてPTA所有の冷蔵庫、冷凍庫の児童館の使用承諾を得ることができた。
		・民生児童委員協議会との懇談会	・風徳民生児童委員協議会	1回	・児童館の事業の報告や意見交換など	・児童館の実情や民生さんとの意見交換をすることで、今後の事業の進め方やあり方などについて深く考えるいいきっかけとなった。 ・またコロナ以前の多くの方が関わっての事業内容について、熱い思いを聞くこともできた。
	・ステーション会議	・北区地域子育てステーション ・北区社会福祉協議会 ・北子どもはぐくみ室	2回	・取組の報告や事例 ・情報、意見交換など	・ステーション施設同士のつながりが深まった。 ・各施設が地域に向けて子育て支援を発信していく意識をもつことができ、共催事業が増えた。 ・ゆずりまず、もらいます事業は1回も上手く進まなかったが、子ども服やりコース事業は再開する事が出来た。	
	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等	使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
	・遊戯室	・赤ちゃん絵本の読み聞かせ(さくら会) ・京都語り部の会 ・図書館おたのしみ会(大谷大学)	・北図書館	・連携をすることで、たくさんの利用者に児童館事業の広報と参加を呼びかけることができた。		
	・遊戯室	・大人の寺子屋	・京都市紫野地域包括支援センター	・「マホッピー」さんのウクレレとギターに合わせ、一緒に歌ったりした。包括と連携し、高齢者・障害のある方との交流を深めていきたい。		
	(6)地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法
・子育て講演会・講座アンケート	・企画参加後の意識調査 ・次年度の運営の参考に する。	・子育て講演会・講座参加者	紫野児童館	・企画終了後、その場で記入および回収	・参加しての感想と、今後どのような講座を希望するかなどの意見が書かれており、講座を決めていく際の参考とした。	
・利用者共通アンケート	・利用者の意識調査 ・次年度の運営の参考に する。	・紫野児童館利用者全員	紫野児童館	・配布、その場で記入、後日に記入および回収 ・学童クラブ保護者は、Googlefoamにて実施。	・今年度より、中高生と赤ちゃんとの交流事業を実施したことで、昨年度まで配布できなかった「中高生」にも配布することができ、多くの回答を得ることができた。また、昨年度までアンケートに挙がっていた防犯対策として、門扉を電子錠付きのものに変更した。	
・幼児クラブ「はとぼっぼ」	・利用者の意識調査 ・次年度の運営の参考に する。	・幼児クラブ「はとぼっぼ」登録者	紫野児童館	・配布、その場で記入および回収	・各クラブ登録者や参加者の想いが具体的に記入されており、意識確認ができた。それらの意見を踏まえ、次年度以降の取組内容を決める参考としていきたい。 ・今年度は、前期後期でメンバーが入れ替わったため、アンケート実施時には前半によく来られていた利用者の声をきくことができなかった。	